

リテールローン 審査AIサービスのご紹介

三菱総合研究所は、AIを用いてリテールローン審査業務の自動化を実現する「審査AIサービス」をご提供しています

概要

- 金融機関がローン審査において確認する情報を用いて、AIが人間の審査ノウハウを学習することで、審査の自動化を促進し、審査業務のDX(デジタルトランスフォーメーション)を支援します
- APIによるローン審査システムへの連携、既存業務へAI審査を組み込むための業務コンサルティングをご提供することで、**システム面、業務面双方における確実な実装をご支援**します

ニューノーマルの時代に加速する 金融機関のDX

人間の経験値によるローン審査業務は大きく変化しようとしています

導入効果

審査回答スピードの向上・24時間審査回答が可能に

人が判断するまでもない案件をAIが24時間体制で即時自動承認できるようになり、同時に即時回答することで顧客の離脱率低下が見込まれます。また、常時受付可能であることから、Web申込等の集客チャネルの選択肢を持つことができ、営業推進が加速します。

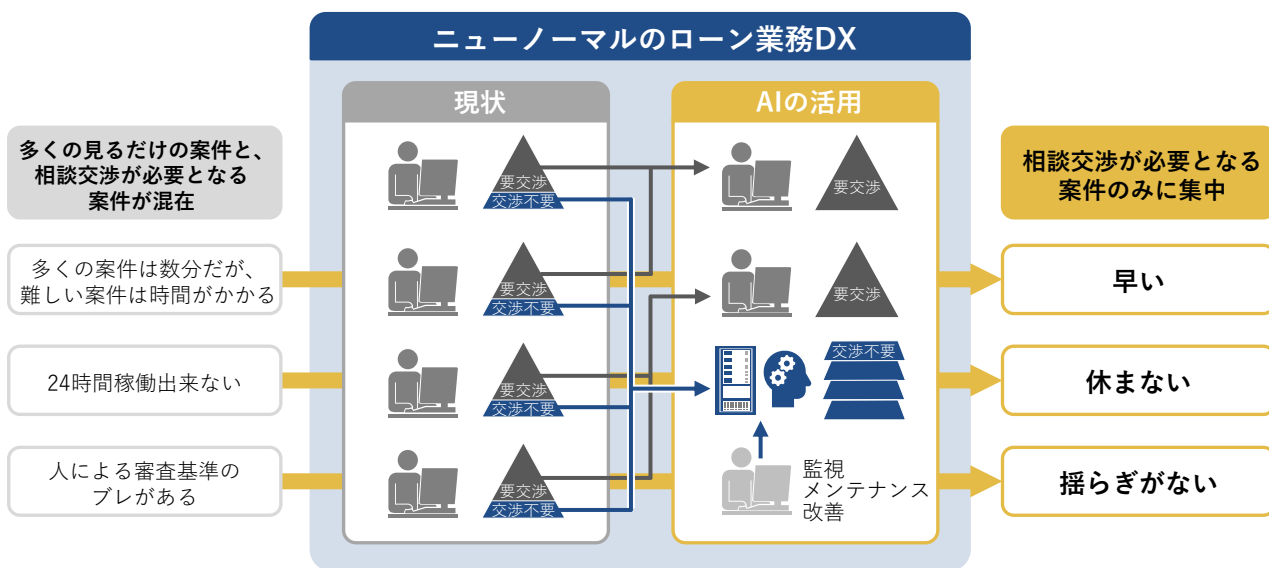
付加価値業務へのリソース集中を実現

AIが審査業務を一部代行することで、人的リソースを相応に減らす効果が見込めます。人が見るべき難しい案件に人的リソースを集中させてより高度な審査を実現し、承認すべき案件を適切に見極め、承認率上昇やデフォルト率抑制の効果も見込めます。

審査基準の安定化

AIは過去の人間による審査結果を元に各金融機関のクレジットポリシーを学習します。審査官のノウハウを集約したAIを用いることで、安定した審査が実現できます。

人間が見るまでもない案件はAIが代替する業務への転換



図：AI審査活用によるリテールローン審査業務効率化

出所：三菱総合研究所

特徴

審査AIサービスの4つの特徴

特徴1 | AIモデルの性能

- 高い判別精度を有するAIの構築が可能で、申込案件の半数以上の自動承認が実現できます。
(AR値^(※1) 90%以上、申込案件の半数について審査官判定結果との一致率99%以上)

特徴2 | AIモデルの解釈性

- 諾否判定においてAIが着目した審査項目と、それをどの程度考慮したかを数値で示します。
- AIがどのような理由で判定を下したのかを、案件単位で人間が理解できる仕組みになっています。

特徴3 | システムへの実装

- API技術^(※2)を活用し、AIの判定結果を既存のローン審査システムにリアルタイムで反映します。
- ローン審査システム側の開発はインターフェースや画面のみのため、現実的な時間とコストでAIを導入することが可能です。

特徴4 | 業務への実装

- 審査業務の自動化を促進する上でボトルネックとなる既存業務におけるルールやチェック項目について、AIとの関係性を整理し、既存のルールやチェック項目の全面的な見直しをご支援します。
- 「審査AIサービス」の効用である審査業務の自動化率を最大化した上で業務に実装します。

(※1) AR値 (Accuracy Ratio) とは、モデルを評価する指標で最小0%～最大100%の値をとる。

(※2) API (Application Programming Interface) とは、異なるシステム間でデータ等を連携するためのインターフェースを定めた仕様。

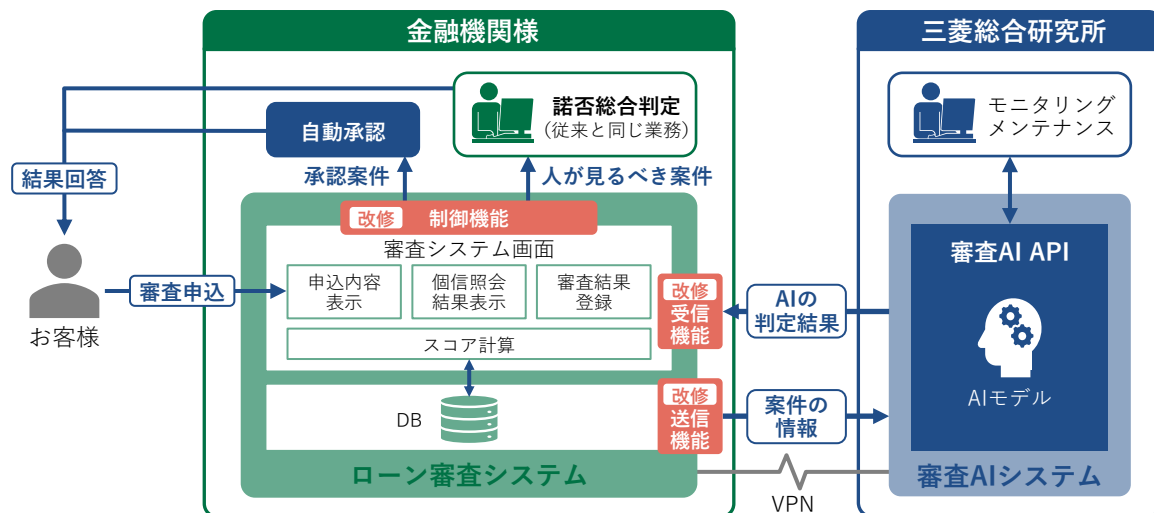
利用方法

ローン審査システムの小規模な改修のみで利用可能

APIによって案件ごとにAIの審査結果をローン審査システムへ回答します。

ご利用にあたりローン審査システム側で、審査AIシステムとのAPI接続を行うインターフェース（送受信機能）、および受信したAIの結果を元に業務フローを制御する機能を開発していただきます。

- API接続機能
 - 送信機能：対象案件の審査情報データを抽出し、APIリクエストを送信する機能開発
 - 受信機能：APIの応答結果を受信し、必要に応じて審査画面上にAI結果を表示する画面開発
- 業務フロー制御機能
 - AIの応答結果を元に、業務フローを選択（自動承認or審査官判定）する制御機能の組み込み



図：API接続によるAI審査の利用

出所：三菱総合研究所

導入 プロセス

3つのフェーズによる確実な導入

「審査AIサービス」導入には、3つのフェーズによる確実なプロセスをご案内しています（※3）。

1 | 導入フェーズ（期間目安：約6ヶ月）

- 過去の審査データを用いて、金融機関ごとに対象とするローン商品に合わせたAIモデルを構築します（※4）。
- またローン審査システムと審査AIシステムを接続するためのAPIインターフェース仕様を確定し、ローン審査システム側の開発を支援します。

2 | 検証フェーズ（期間目安：約6ヶ月）

- 審査AIシステムをローン審査システムに接続し、実案件による稼働検証を実施することで、システム上の改善点、AIモデルの評価結果に対する改善点を洗い出し、本番フェーズに向けてチューニングを行います。
- また、AIモデルと既存業務の関係性を整理し、既存業務の見直しを行います。AIモデルの役割を明確にした上で、業務への確実な実装を行います。

3 | 本番フェーズ

- AIモデルの結果を審査業務に反映させ、「審査AIサービス」の本格的なご利用を開始していただきます。
- 本番適用開始後は、審査AIシステムの継続的な監視・運用保守、およびAIモデルの定期的なモニタリング・チューニングを行います



（※3） サービス導入までのプロセスの一例です。導入にあたっては、各金融機関様の状況に合わせた進め方をご提案いたします。

（※4） 現時点では各金融機関様の過去データから個別に構築しており、汎用的・標準的なAIモデルのご提供は行っておりません。

導入 コスト (※5)

導入フェーズ

- AIモデル構築、API設定費用
- 導入コンサルティング費用
- ローン審査システム改修費用

検証フェーズ

- システム運用保守費用

本番フェーズ

- システム運用保守費用
- サービス利用料
(件数に応じた従量制)

（※5） 実際の費目や金額の詳細につきましては、各金融機関様の状況に応じてご相談させていただきます。また、ローン審査システム側の改修費用につきましては、システムベンダー様へのお見積り依頼が必要となります。

内容に関するお問い合わせ

株式会社三菱総合研究所

〒100-8141 東京都千代田区永田町2-10-3 Tel: 03-6858-3580

Mail: shinsa-ai-contact@ml.mri.co.jp

デジタル・トランスフォーメーション部門 金融DX本部